

4 科目履修について

4. 1 履修手続きと成績評価

(1) 前期オリエンテーション

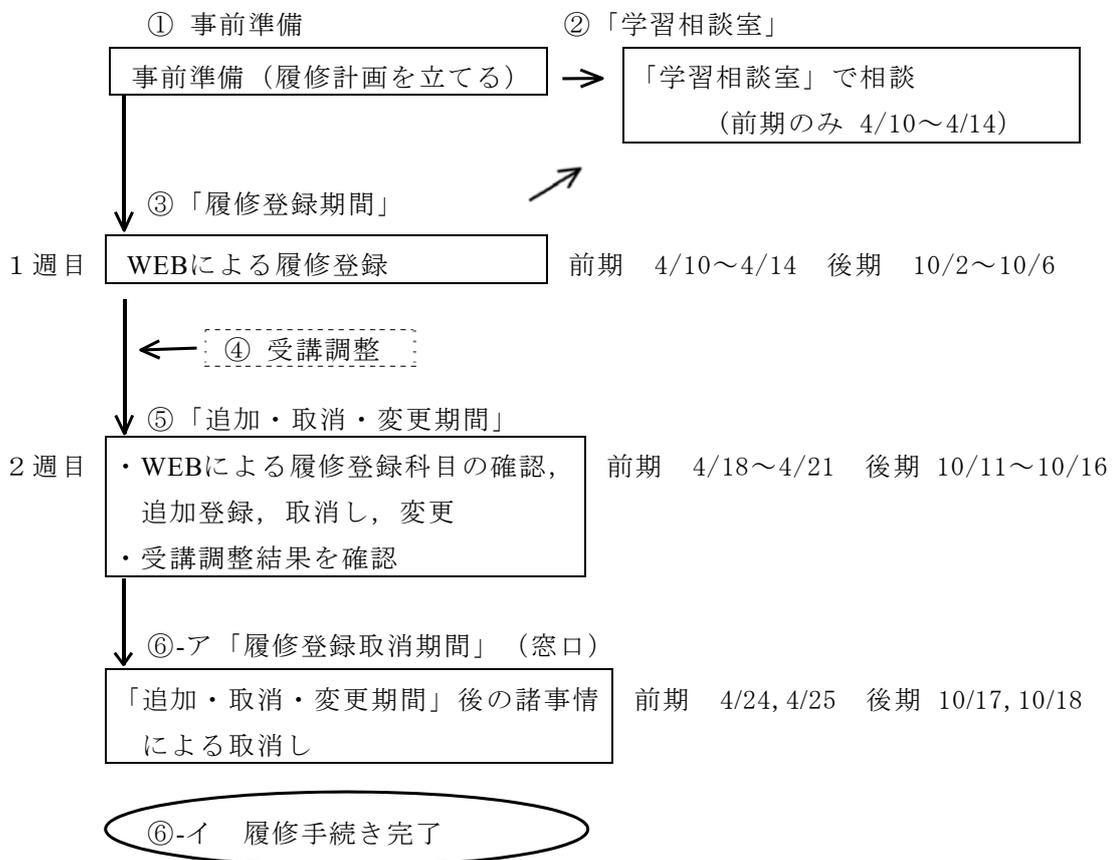
入学式が終わると、いよいよ大学生活が始まります。授業開始までに、さまざまなオリエンテーションが開催されます。履修方法その他の大事な情報をお知らせしますので、必ず出席してください。

(2) 授業開始

授業が開始されて最初の1週間は、どの授業を選択するかを決めるために、興味のある授業に出席してみることができます。

(3) 履修手続き(履修登録)

◀履修登録の流れ▶ (丸付き数字は次頁の手続きに対応)



学内から履修登録ができる場所

建物名	教室等名	利用可能時間
基盤教育1号館	情報処理教室1	平日 8:30～17:00
	情報処理教室2	授業で使用している時間帯を除きます。
情報ネットワークセンター	第1実習室	平日 9:00～19:00 授業で使用している時間帯を除きます。
	第2実習室	
	第3実習室	
小白川図書館	情報検索エリア	平日 8:15～20:50

①事前準備

授業開始前には、様々なオリエンテーションが開催されます。「基盤共通教育案内」、各学部の「学生便覧」、「時間割」等の資料を基に、履修方法の説明やその他大事な情報をお知らせします。

オリエンテーションが終わったら、授業開始までに、配付された資料や説明内容を参考に履修計画を立てて、第1回目の授業から出席することになります。

「スタートアップセミナー」、「英語」、「情報処理」など一部の授業は、受講すべきクラスが指定されていますので、履修計画を立てる前に掲示で自分が履修すべきクラスを確認してください。

また、各授業科目には、授業を円滑に実施するために「受講定員」が設定されていますので、希望どおりに受講が認められない場合があります。第1回目の授業では、まず授業内容のガイダンスが行われます。この時点で受講定員を超えている場合は、他の授業の教室に行くよう指示される場合や履修登録者数によっては抽選を行う場合があります。受講を認められなかった場合や抽選から漏れた場合に他の授業に出席できるように、あらかじめ、それぞれの校時（授業時間帯）について、第2希望、第3希望の授業を考えておいてください。

また、「ドイツ語」、「中国語」等では、第1回目の出席者の状況により、履修クラスの調整を行うことがありますので、授業担当教員の指示に従ってください。

【注 意】

受講定員を超過した場合は、抽選を行います。抽選を実施した科目は、履修手続において以下のような制限がありますので、「追加・取消・変更期間」に確認を行い、必要に応じて履修登録科目の追加や変更を行ってください。

<抽選により受講が認められた場合>

抽選により受講が認められた授業科目は、履修登録を削除することはできません。

ただし、何らかの事情により履修を取りやめる場合は、「履修登録取消期間」に取消のみ行えます。（同じ時間帯に違う授業を登録することはできません。）

<抽選に漏れた場合>

抽選に漏れた科目の時間帯には、新しく別の科目を履修登録することができます。履修登録できる科目は受講定員に空きがあり、抽選を実施していない授業科目のみで、手続きは先着順となります。「追加・取消・変更期間」に登録を行ってください。

②学習相談室

履修計画は、オリエンテーションにおける説明や配付された冊子等を読みながら、卒業要件や進級条件等を考慮して、自分で行わなければならない大切な作業です。理解できなかったり、計画は立てたけど不安ということも当然あります。そこで、前期の授業開始から1週間は、「学習相談室」が開かれて、教員が履修上のさまざまな相談に応じますので、大いに利用してください。

また、「学習相談室」のほかに「学習サポートルーム」が開設され、職員や学生が対応します。詳細については、31頁を参照してください。

③履修登録期間

授業開始から1週間は「履修登録期間」となります。当該学期に履修するすべての授業をWEB上で登録してください。

また、受講クラスが指定されている「スタートアップセミナー」、「英語」など一部の授業は、あらかじめ履修登録してありますので、掲示で自分のクラスを確認の上、第1回目の授業から指定された授業クラスに出席してください。

なお、既修得単位認定を受ける見込みである等の理由により、指定された英語等の授業クラスを履修する必要がない場合は、WEB上で履修登録を取り消すことはできませんので、学生センター基盤教育担当窓口申し出てください。

◎履修登録期間（WEB）

- ・前期 平成29年 4月10日（月）8:30～ 4月14日（金）17:00
- ・後期 平成29年10月 2日（月）8:30～10月 6日（金）17:00

④受講調整

履修登録者数が受講定員を超過した授業科目を前期は4月17日（月）に、後期は10月10日（火）に掲示板で通知し、教室変更又は抽選を行います。教室変更の結果と抽選を行った授業科目の一覧を、前期は4月18日（火）に、後期は10月11日（水）に掲示板に掲示します。抽選を行った科目の抽選結果は、「追加・取消・変更期間」中にWEBの履修登録画面で確認してください。

⑤追加・取消・変更期間

「履修登録期間」に登録した授業が、自分が履修する授業・クラスで間違いないか等を最終確認する重要なものですので、必ずWEB上で確認してください。抽選の結果についてもこの期間に必ず確認してください。（この期間を過ぎると履修登録は確定され、以降の変更はできません。）

また、「1週目の授業に出席したが、履修登録を違う授業に変更したい」、「もっと履修科目を増やしたい」、「履修を取りやめたい」「抽選に漏れてしまったため、別の科目を登録したい」といった場合は、この期間に追加・取消し等が可能であり、追加登録は先着順となります。

◎追加・取消・変更期間（WEB）

- ・前期 平成29年 4月18日（火）8:30～ 4月21日（金）17:00
- ・後期 平成29年10月11日（水）8:30～10月16日（月）17:00

⑥履修登録取消期間

ア 履修登録した科目を受講した結果、何らかの事情により、追加・取消・変更期間内に取消ができず、どうしても履修を取りやめる場合に、取消手続きを行う期間です。

該当する科目がある場合は、下記の期間内に学生センター基盤教育担当窓口で履修登録の取消手続きを行ってください。

◎履修登録取消期間（学生センター基盤教育担当窓口）

- ・前期 平成29年 4月24日（月）、 4月25日（火）
- ・後期 平成29年10月17日（火）、 10月18日（水）

※各日とも、受付時間は8:30～17:00

イ この期間内に取消しをしなかった科目は、履修すべき科目として全て成績評価の対象となります。「履修登録の取消し」手続きをしないで、履修放棄（履修辞退）した科目は、その成績評価が、「F」（不可）となりますので注意してください。

ただし、病気や事故等、やむを得ない事情が発生し、学生が履修科目の登録取消しを希望する場合は、この期間に関わらず、学生センター基盤教育担当窓口に申し出てください。

(4)成績評価

成績の評価は各学期ごとに行われます。成績の評点は100点満点とし、60点以上が合格、すなわち単位を修得したことになります。成績の評価は、S、A、B、C、Fの5段階で行い、GPA（Grade Point Average）を算出します。

①成績評価区分と付加されるGP（Grade Point）について

成績評価は、以下の表に定める区分により行われ、それぞれのGPが付加されます。

評価区分	評定記号と評価内容	付加されるGP
100～90点	S（秀）：特に優れた成績である。	4
89～80点	A（優）：優れた成績である。	3
79～70点	B（良）：概ね妥当な成績である。	2
69～60点	C（可）：合格に必要な最低限度を満たした成績である。	1
59～0点	F（不可）：合格には至らない成績である。	0
	N（認定）：単位認定科目であり、GPAの対象としない。	なし

②GPAとは

GPAは、高等学校の評定平均値のように、学習成績を総合的に判断するための指標です。GPAの算出方法は、各自が修得したそれぞれの単位数にGPをかけ、その合計GPS（GPS）を履修登録した科目（適用除外科目を除く。）の総単位数で割って算出します。

（例）GPA算出方法

科目名	評定	単位数	GP	獲得したGP
○○○○○○○（○○）	S	2単位	4	2×4=8
△△△△△△（△△）	F	1単位	0	1×0=0
◇◇◇◇◇◇（◇◇）	A	2単位	3	2×3=6
合計		5単位		14点（GPS）

$$GPA = 14 \text{ 点} \div 5 \text{ 単位} = \underline{2.8}$$

（↑この単位数にはF：不合格科目の単位数も含まれます。）

③GPAの適用除外科目について

GPAは、すべての授業科目を対象とします。

ただし、単位の修得のみで評価を付さない次の科目については除外されます。

- ①合格か不合格かだけを判定する授業科目
- ②編入学又は転入学した際の単位認定科目
- ③本学入学前に修得した単位認定科目
- ④他大学との単位互換等で修得した科目
- ⑤本学入学前に、外部試験（TOEIC® テスト、TOEFL® テスト及び英検（実用英語技能試験））を受験し、その成果により単位認定された科目

④再履修した科目の学習成績

不合格となった科目を再履修した場合は、不合格となった学習成績と新たな学習成績の両方が成績として記録されます。

(例) 再履修した科目の記録

科 目 名	評 定
○○○○○○演習 (○○)	F (1年前期 不合格)
○○○○○○演習 (○○)	A (2年前期 合格)

⑤成績評価に対する質問について

成績評価に対して授業担当教員に個別に問い合わせても不明な点がある場合は、学生センター基盤教育担当をとおして質問票を提出することができます。

なお、質問票の提出は原則として次学期の開始月の末日までです。詳細は学生センター窓口で確認してください。

(5)成績通知

成績は、次の学期の授業開始前に各学部から通知します。それをもとに次の学期の履修計画を立ててください。

(6)後期オリエンテーション

後期の始めにも、履修方法に関するオリエンテーションが行われますので、前期と同様、必ず出席してください。それ以降は、前期と同様の方法で、所定の履修手続きを行ってください。

(7)試験における不正行為について

試験中に不正行為を行った者は、本学「学部規則」及び「学生の懲戒に関する規程」に基づき停学等の処分を受けます。

また、当該規程により処分された場合は、不正行為を行った科目は不合格（評点：0点）とし、それ以外の当該学期の履修登録科目は、すべて履修取消となりますので、注意してください。次頁をよく読んでください。

カンニング・盗作に関する注意喚起

1. 不正行為のもたらす結果

試験(小テスト・演習・レポートや発表・中間期末試験等)での不正行為は、停学処分かつ不正行為を行った科目は不合格、それ以外の当該学期の履修登録科目すべて取消となり、その当然の結果としてほぼ例外なく留年となっています。

2. 不本意な留年による損失

不本意な留年となると・・・

- ・直接的には、卒業が遅れるため、授業料や生活費・年月の浪費が起きます。
- ・間接的にも、奨学金の停止や就職活動への悪影響、留学生であれば帰国等、様々なペナルティが発生します。

3. 不正行為となる事例と懲戒の処分内容

事例

小テストで持込禁止のプリントを裏に向けて机の上に置いていた。

故意又は過失に関係なく、事前の指示に従っていない場合は、不正行為となります。

インターネットにある文章を数行コピー&ペーストし、レポートを作成した。

引用の条件を満たさず、他人の文章を盗作したことになり、不正行為となります。

サークルの先輩の過去レポートの一部をコピー&ペーストし、レポートを作成した。

引用の条件を満たさず、他人の文章を盗作したことになり、不正行為となります。

他の学生に適切に作成した自分のレポートを写させてあげた。

オリジナルであることを証明できないので、写させた側及び写す側とも、不正行為となります。

試験で隣の人の答案を写したが、間違った解答であった。

結果に関わりなく写すという行為が、不正行為です。

懲戒の処分内容

- ・停学(無期又は有期)又は戒告
- ・停学処分を受けた場合には、不正行為を行った科目は不合格、それ以外の当該学期の履修登録科目すべて取消

不正行為は、試験(小テスト・演習・レポートや発表・中間期末試験等)によって処分に違いはありません。

学生のみなさんは、友人が不正行為を安易に考えているようであれば、大きな不利益を被ることを、教えてあげてください。

(8)進級

入学後1年を経過し、学部ごとに定める進級条件を満たした人は、進級することになります。進級条件については、次の表を参照してください。なお、学部によっては進級条件の単位数が卒業に必要な単位数よりも少ない場合がありますので、注意してください。

学 部	進 級 条 件
人文社会科学部	設定しない。
地域教育文化学部	
理 学 部	
医 学 部	(両学科とも)入学から2年間で所定の単位を修得できない者は除籍とする。 (医学科) <ul style="list-style-type: none"> ・導入科目「スタートアップセミナー」2単位, 「学部導入セミナー」2単位 ・基幹科目4単位(各領域から1科目ずつ2単位) ・教養科目の各領域並びに共通科目の「健康・スポーツ」及び「キャリアデザイン」から15単位 ・共通科目の「情報科学」2単位, 「スキル1」の「英語1」4単位及び「スキル2(ドイツ語又はフランス語)」4単位 ・1年次の専門教育科目すべての単位 (看護学科) <ul style="list-style-type: none"> ・導入科目「スタートアップセミナー」2単位 ・基幹科目4単位(各領域から1科目ずつ2単位) ・教養科目の各領域並びに共通科目の「健康・スポーツ」及び「キャリアデザイン」から18単位(ただし, 「文化と社会」及び「自然と科学」からそれぞれ4単位以上修得すること) ・共通科目の「情報科学」2単位並びに「スキル1」の「英語1」4単位 ・1年次の専門教育科目すべての単位
工 学 部	(高分子・有機材料工学科, 化学・バイオ工学科, 情報・エレクトロニクス学科, 機械システム工学科) <ul style="list-style-type: none"> ・導入科目「スタートアップセミナー」2単位 ・基幹科目4単位(各領域から1科目ずつ2単位) ・教養科目の各領域並びに共通科目の「サイエンス・スキル」, 「健康・スポーツ」, 「キャリアデザイン」から14単位 ・機械システム工学科は, 「スタートアップセミナー」の「学部導入セミナー」を含めることができる。 ・「教養科目」の「文化と社会」及び「共通科目」の「キャリアデザイン」から8単位以上を修得すること。 ・「自然と科学」及び「サイエンス・スキル」から6単位修得すること。ただし, 「サイエンス・スキル」の「微分積分学Ⅰ(数理科学)」又は「微分積分学Ⅱ(数理科学)」から2単位以上を修得すること。 ・共通科目の「スキル1」の「英語1」2単位 ・1年次の専門教育科目 ただし, 入学から3年間で所定の単位を修得できない者は除籍とする。 (建築・デザイン学科)(3年次へ進級する際の条件) <ul style="list-style-type: none"> ・導入科目「スタートアップセミナー」2単位 ・基幹科目4単位(各領域から1科目ずつ2単位) ・教養科目の各領域並びに共通科目の「サイエンス・スキル」, 「健康・スポーツ」及び「キャリアデザイン」から14単位 ・「教養科目」の「文化と社会」及び「共通科目」の「キャリアデザイン」から8単位以上を修得すること。 ・「自然と科学」及び「サイエンス・スキル」から6単位修得すること。 ・共通科目の「スキル1」の「英語1」2単位 ・1年次開講科目の基礎設計製図2単位

学 部	進 級 条 件
農 学 部	<ul style="list-style-type: none"> ・導入科目「スタートアップセミナー」2単位 ・基幹科目4単位（各領域から1科目ずつ2単位） ・教養科目並びに共通科目の「スキル2（初修外国語）」、「情報科学」、「健康・スポーツ」、「サイエンス・スキル」及び「キャリアデザイン」から15単位 ※「教養科目」については、2領域以上から単位を修得すること。 ・共通科目の「スキル1」の「英語1」2単位 ・1年次の専門教育科目17単位（次のとおり） <ul style="list-style-type: none"> ・食料生命環境学入門 2単位 ・現場から学ぶ農学 2単位 ・基礎農学セミナー 1単位 ・安全農産物生産学概論 2単位 ・食農環境マネジメント学概論 2単位 ・食品・応用生命科学概論 2単位 ・植物機能開発学概論 2単位 ・森林科学概論 2単位 ・水土環境科学概論 2単位 <p>ただし、入学から2年間で所定の単位を修得できない者は除籍とする。</p>

4. 2 基本的事項

(1) 時間割とコマ

授業は、以下の時間帯に行われています。

- 1～2 校時 （ 8:50～10:20） 1 コマ目
- 3～4 校時 （10:30～12:00） 2 コマ目
- 5～6 校時 （13:00～14:30） 3 コマ目
- 7～8 校時 （14:40～16:10） 4 コマ目
- 9～10 校時 （16:20～17:50） 5 コマ目

毎日の各時間帯に行われる授業を数えるときに、便宜的に「コマ」という呼び方をします。

(2) 履修クラス

授業科目によって、履修できるクラスが指定されている場合がありますので注意してください。（「導入科目」、「共通科目（英語、情報処理）」など）事前に自分の履修クラスを確認しておいてください。

各履修クラスは、「8.2 基盤共通教育履修クラス編成表」（66 頁）や掲示で確認しておいてください。

(3) 各科目に対し認定される単位数

大学での学習は、受動的なものではなく、自ら行うものです。つまり、毎回の授業に対して、図書館や自宅等における一定時間の自学自習がみなさんの側に求められています。各授業科目に対する単位数も、教室内外のトータルな学習時間を考慮して、原則として次のように定められています。

- ①「導入科目」、「基幹科目」、「教養科目」、「共通科目（情報科学、健康・スポーツ、サイエンス・スキル、キャリアデザイン）」は、毎週1コマ1学期15週の授業で2単位（「スポーツ実技」は毎週1コマ1学期15週の授業で1単位）
- ②「共通科目（コミュニケーション・スキル1及び2）」は、毎週1コマ1学期15週の授業で1単位（ただし、日本語を除くスキル2は毎週2コマ1学期15週の授業で2単位）

③実験，実習を含む授業では，時間数が増える場合があります。

※中には「集中講義（あるいは集中形式）」として，3日から4日程度数コマずつ連続，あるいは1泊2日を複数回など集中的に授業が行われる場合があります。

(4)休講，補講等のお知らせ

授業科目の休講，教室変更，補講等のお知らせは全て掲示でお知らせします。基盤教育1号館の掲示板，各学部の掲示板を確認してください。

休講，補講，学生呼び出し等については，基盤教育1号館の電子掲示板と各学部の電子掲示板でお知らせしていますが，WEB（学内限定）あるいはスマートフォン・携帯電話等（携帯向けお知らせ情報含む）でも確認することができます。アドレスは次のとおりです。

山形大学キャンパスライフ

- ・WEB（学内限定）本学HPの「教育・キャンパスライフ」をクリックし，画面左下の休講・補講情報・学生呼び出し等をクリック
- ・スマートフォン・携帯電話等（学外からの利用も可）

<http://campus.yamagata-u.ac.jp/>



※小白川キャンパスにおける，台風，大雪等の荒天候の影響による休講については，54頁を参照してください。

(5)学生証による出席管理

基盤共通教育では，IC学生証を利用し授業の出席管理を行っています。

授業を受ける際（授業開始10分前から）は，授業開始前に必ず教室内の「ICカード読み取り装置」に学生証をかざしてください。授業開始後にかざすと，遅刻や欠席の扱いとなりますので，十分注意が必要です。

学生証の不携帯により学生証をかざせない場合は，各教員にその旨お知らせください。

出欠確認に使用しない授業（各教員の判断）でも，みなさんの安否確認に利用していますので，出席する授業全てにおいてかざしてください。

4. 3 履修上の注意事項

(1) 導入科目

① スタートアップセミナーは必修科目であり、すべての学部で2単位修得が卒業要件とされています。また、医・工・農の3学部では2年次への進級条件にもなっています。

② スタートアップセミナーでは『なせば成る！』（スタートアップセミナー 学習マニュアル、山形大学出版会発行）を全学共通テキストとして使用します。授業が始まるまでに最寄りの書店で各自購入してください。また、クラス編成については、第1回目の授業が始まる前に授業クラスを掲示しますので、確認の上、指定されたクラスに出席してください。

(2) 基幹科目

① 「人間を考える・共生を考える」と「山形から考える」の2領域から、それぞれ2単位、計4単位を修得してください。

すべての学部で、各領域からそれぞれ2単位、計4単位修得が卒業要件となっています。また、医・工・農の3学部では、2年次への進級条件にもなっています。

② 各領域で修得できる単位数は2単位を上限とします。

③ 各領域とも、前期または後期に開講される科目からそれぞれ1科目（2単位）を選択し、履修登録してください。後期開講科目についても前期履修登録期間（4月）に履修登録してください。

(3) 教養科目

① 各学部・学科の卒業要件と履修方法に従い、計画的に単位を修得してください。

学部・学科ごとの卒業要件と履修方法については、「山形大学基盤共通教育履修規程」（55頁）及び「山形大学基盤共通教育科目の履修方法」（59頁）を参照してください。

② 「自然と科学」領域の科目は、一般コース、発展コース、に区分します。原則として、該当科目を高等学校で履修した人は発展コースを、履修していない人は一般コースを履修してください。ただし、未履修者が発展コースを履修することは妨げません。

（コース区分については、「山形大学 Syllabus 基盤共通教育」を参照）

URL <http://www.yamagata-u.ac.jp/gakumu/syllabus/2017/>

教養科目は、自分の学部・学科・コースとは直接関係のない分野の科目も積極的に選び、視野を広くすることが望まれます。

従って、できるだけ多様な分野から科目を選択する方がよいでしょう。とはいっても、大学の授業は自学自習が前提です。たくさんの科目を履修しすぎて、自学自習する時間がなくなるのは問題です。ある程度余裕を持って科目を選択するようにしてください。

教養科目の「授業名」と履修上の制限等

(以下に挙げられている具体的な授業科目は、説明のために便宜的に書いたもので、実際に開講されているものとは限りません。)

- ① 「山形大学 Syllabus 基盤共通教育」及び授業時間割冊子では、教養科目の「授業名」は、「授業テーマ」と「分野名」の組合せで以下のように記載されています。

「○○○○○○(×××)」

授業テーマ (分野名)

例1 「文学にみる社会観 (文学)」

授業テーマ (分野名)

「分野名」(57頁の「山形大学基盤共通教育履修規程別表」を参照)には必要に応じて「識別記号」(A, B等)を付すことがあります。

例2 「笑いと逸脱の文学史 (文学A)」

授業テーマ (識別記号を付した分野名)

- ② 重複履修の制限について (卒業時まで適用)

ア 「分野名」と「識別記号」の両方が同じ授業は、授業テーマが異なっても重複して履修することはできません。

例3 「科学リテラシー (化学A)」と「感動する化学 (化学A)」

重複履修不可

イ 「識別記号」の付されていない同一の分野名で、同一の授業テーマをもつものは、重複して履修できません。

例4 「言語は臓器である (言語学)」と「言語は臓器である (言語学)」

重複履修不可

ウ 同一の「分野名」であっても、上記ア、イ以外の授業は、重複して履修することが可能です。

例5 「古典力学の世界 (物理学A)」と「相対論 (物理学B)」は、

識別記号が異なるので、可

「異文化を生きた人々 (文学)」と「都市と文学 (文学)」は、

授業テーマが異なるので、可

- ③ 2単位科目のうち、授業内容に継続性のあるものは、「識別記号」に1, 2の番号がついています。その場合は、授業1の内容を前提として授業2が展開されますので、番号順に履修するようにしてください。

例6 「言霊と言語遊戯 正 (文学B1)」と「言霊と言語遊戯 続 (文学B2)」は、

継続性のある授業です。

重複履修の可否（例）

授 業 科 目		履修の可否
科学リテラシー（化学A）	感動する化学（化学A）	不可※
言語は臓器である（言語学）	言語は臓器である（言語学）	不可※
古典力学の世界（物理学A）	相対論（物理学B）	可
異文化を生きる人々（文学）	都市と文学（文学）	可

※ただし、左側の科目の成績が不合格だった場合には、その同じ授業科目を再履修すること、又は右側の科目を履修することが可能です。

(4) 共通科目

開講されている共通科目の種類及び修得しなければならない単位数は、学部・学科によって違いがありますから、「山形大学基盤共通教育履修規程」（55 頁）及び「山形大学基盤共通教育科目の履修方法」（59 頁）の該当箇所をよく読み、学部・学科の指導にそって履修してください。

1) コミュニケーション・スキル1(英語)

コミュニケーション・スキル1（英語）は、「英語1」「英語2」「英語3」で構成されます。

「英語1」は1年次に開講します。「英語2」「英語3」は所属学部によって、内容及び履修方法等が異なりますので、自分の所属する学部の説明、指導に従ってください。

【英語1】

①「コミュニケーション英語」と「総合英語」

コミュニケーション・スキル1（英語1）は、「コミュニケーション英語」「総合英語」という二種類の授業から構成されます。

「コミュニケーション英語」においては、英語でのコミュニケーション能力を育成することを目的とし、スピーキング、リスニング、ライティング（後期のみ開講）でそれぞれの技能を養成します。

「総合英語」においては、英文読解力を中心に、英語運用能力を総合的に養成します。

②開講方法と単位数

「コミュニケーション英語」「総合英語」は、前・後期とも、学部ごとに（工学部は学科ごとに）週1回ずつ開講され、全学部必修の科目です。単位は、いずれも、1学期15週の授業で1単位です。前期と後期のそれぞれの学期に「コミュニケーション英語」と「総合英語」をそれぞれ1つ受講し、前・後期合わせて合計4単位（前期2単位、後期2単位）履修することになります。

※ 各学期とも修得できる単位数の上限は2単位です。したがって、前期に単位を修得できない場合であっても、後期に2単位を超えて履修することはできません。単位の補充は2年次以降に行ってください。

③クラス指定

「コミュニケーション英語（スピーキングあるいはリスニング）」と「総合英語」はクラス指定です。授業クラスは、大学入試センター試験の英語の成績等に基づいて、35人規模に

編成されています。前・後期とも、「コミュニケーション英語」と「総合英語」のそれぞれで、第1回目の授業が始まる前に授業クラスを掲示しますので、確認の上、指定された授業クラスに出席してください。後期にクラス替えはありません。ただし、担当教員は学期ごとに交替となります。

また、後期のみが開講される「コミュニケーション英語（ライティング）」のクラスは、スピーキングあるいはリスニングに替えて選択できます。「ライティング」のクラスを履修しない場合、指定のクラス（「スピーキング」あるいは「リスニング」）を履修することになります。「ライティング」のクラスは原則1学部で1クラス開講します。ただし、医学部・農学部は混合クラスのため、両学部を合わせて1クラスになります。また、理学部と工学部（情報・エレクトロニクス学科、建築・デザイン学科）も合わせて1クラスになります。自分の所属している学部（及び学科）の枠で開講されているクラスを履修してください。「ライティング」のクラスはレベルによるクラス分けは行いません。

④後期のみが開講する「コミュニケーション英語（ライティング）」のクラスの履修方法

前期中に英語の授業で配布する「基盤共通教育英語ガイドブック」に「ライティング」のクラスの履修方法が記載されています。履修受付は基盤教育担当で行いますので、履修希望者は期間内に申し込んでください。受付後はクラスを変更できませんので、シラバスを熟読の上、履修するようにしてください。

⑤時間割の見方

授業は基本的に学部ごとに開講されますが、医学部と農学部については同じ枠で、また、工学部は学科ごとに二つの異なるコマで開講されますので、注意してください。

⑥修得単位の取扱いについて

全学部とも4単位必修となっています。

⑦TOEIC® IP テストについて

1年生を対象にして、年に1回（12月2日（土）の予定）全学部共通のTOEIC® IPテストが行われます。このTOEIC® IPテストの結果は、後期の「総合英語」の授業の成績の20%分として算入されるので、必ず受験してください。なお、後期の「コミュニケーション英語」にはTOEIC® IPテストの結果は反映されません。

なお、自分で受験したその他のTOEIC®テストのスコアをもってこの試験に代えることはできません。TOEIC® IPテスト受験の詳細は授業開始後に説明します。

⑧外部試験の成果の認定について

ア 本学入学前に、外部試験（TOEIC®テスト、TOEFL®テスト及び英検（実用英語技能検定試験））を受験し、下記に示すいずれか一つを満たした場合、申請によりその成果を基盤共通教育共通科目の「コミュニケーション・スキル1（英語1）」の前期の単位（必修4単位のうち2単位まで）として認定する制度があります。

ただし、所属学部(学科)により別途指示がある場合は、その指示に従ってください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ TOEIC®テスト 700点以上・ TOEFL®テスト 500点以上 又は TOEFL iBT®テスト 61点以上・ 英検（実用英語技能検定試験） 準1級以上 |
|---|

イ 単位の認定は、1年前期の学期始めに行います。

ウ 認定を希望する場合は、所定の申請書に、試験の成果を確認できる書類等（写）を添付し、学生センター基盤教育担当に提出してください。

提出期限は4月17日（月）までとします。

⑨英語履修相談室

「英語」の履修に関して不明な点があるときには、下記の英語履修相談室において、担当者から直接説明を受けてください。

場 所：基盤教育1号館2階東端，コミュニケーション・スキル1運営室
期 間：〔前期〕 4月10日（月）～13日（木）
〔後期〕10月 2日（月）～ 5日（木）
時 間：16時～17時

⑩単位の補充（再履修）について

英語を再履修する場合は、2年次以上の学生を対象とするクラスに出席してください。

再履修クラスは指定された枠で1クラス開講されますが、補充すべき「コミュニケーション英語」又は「総合英語」のどちらかを、各自が選択して履修登録することになります。

ただし、1つの学期に補充できる単位は2単位までです。

なお、当該授業クラスでの履修が困難な場合は、英語履修相談室において授業クラスを調整しますので、英語履修相談室に出向いてください。

2)コミュニケーション・スキル2(初修外国語)

初修外国語は、「ドイツ語」「フランス語」「ロシア語」「中国語」「韓国語」からなります。

それぞれⅠ（前期）とⅡ（後期）に区分します。週2回の授業がセットになり（週1回の受講は認めません）、Ⅰ、Ⅱとも2単位となります。

2年次以降の専門教育のための基礎科目として1年次に履修します。各外国語とも4単位開講とし、必修・選択の別は各学部の教育方針に沿って、学部もしくは学科・コースごとに指定します。規定の必修単位数を超えて修得した単位数（ふたつめの初修外国語を2年次以降に履修した場合も含む）の取扱いについては、各学部の定めるところによります。

(発展コース)

また、2年次以降における継続的な学習への意欲を高めるため、人文社会科学部の専門教育科目を各外国語の発展コースと位置付け、人文社会科学部以外の学生が「〇〇語Ⅲ」及び「〇〇語Ⅳ」として履修することができるものとします。（当面の間は韓国語を除く）

発展コースは1科目2単位とし、それぞれの初修外国語Ⅰ及びⅡの4単位をすでに修得している学生を対象とします。（入学前の学修成果の認定による場合は、学生センター基盤教育担当で相談してください。）

なお、修得した単位の取扱いについては、各学部の定めるところによります。

3)コミュニケーション・スキル2(日本語)

「日本語」は、留学生又は日本語を母語としない学生を対象に、大学での生活や学習・研究に必要な日本語能力の獲得を目指します。

①開講科目及び修得できる単位数

前期は「日本語上級1（春）」4科目、「日本語上級2（春）」3科目、後期は「日本語上級1（秋）」4科目、「日本語上級2（秋）」3科目を開講します。これらはいずれも1単位で、日本語上級レベルの科目です。合計で8単位まで修得できます。

「日本語」の履修にあたっては、4月の前期開始前に行われる日本語プレースメントテス

トを受けなければなりません。その結果に基づき、日本語担当教員が履修指導を行います。

なお、上記以外に「日本語初級1」「日本語初級2」「日本語中級1」「日本語中級2」「研究プロジェクトI」「研究プロジェクトII」を開講していますが、これらは研究生、大学院生、短期留学生を対象としており、学部留学生（正規学生）は履修することはできません。

②「授業名」と履修上の制限等

4.3(3)の「教養科目の「授業名」と履修上の制限等」についての説明(22頁・23頁)と基本的に同じ(以下の例1及び2参照)です。

例1 「日本語上級1(春)「読む」(日本語A)」
授業テーマ (分野名)

例2 「日本語上級1(春)「読む」(日本語A)」と「日本語上級2(春)「読む」(日本語A)」は、「分野名」と「識別記号」が同一なので、重複して履修することは出来ません。

③修得単位の振替え

「教養科目」又は「コミュニケーション・スキル1又は2」の単位に振り替えることができます。ただし、学部・学科によっては振替えではなく履修を推奨する科目もあるため、事前に所属の学部・学科に確認してください。

具体的な方法は、留学生のためのオリエンテーション等で詳しく説明します。

④帰国子女・中国引揚者等子女の履修

帰国子女や中国引揚者等子女には、日本語の履修が認められる場合があります。詳しくは、別途日本語プレースメントテストを行って決定します。履修希望者は、学生センター基盤教育担当に申し出て、指示に従ってください。

4)情報科学

文系・理系を問わず、情報処理に必要なスキルと知識の修得を目的とし、共通テキストを用いて、その範囲内で実施するものとします。

なお、各学部ごとの開講学年、単位数・必修/選択の別は以下のとおりです。

また、クラス編成については、第1回目の授業が始まる前に授業クラスを掲示しますので、確認の上、指定されたクラスに出席してください。

学 部	開講学年	単位数・必修/選択	授業名
人文社会科学部	1 年次	2 単位・必修	情報処理
地域教育文化学部		2 単位・必修	
理学部		2 単位・選択	
医学部		2 単位・必修	
工学部		2 単位・必修	
農学部		2 単位・選択	

(注意) 情報科学(共通科目)として修得した単位の取扱いは、所属学部の学生便覧を参照してください。

5)健康・スポーツ

①健康・スポーツ科学

健康・スポーツ科学は、年間10コマ程度開講される1学期15週で2単位の講義です。

この授業科目は、スポーツ文化について、多様な側面から科学的に理解を深めていくものです。内容は、スポーツの技術や体力に関するもの、健康と運動の関わりに関するもの、スポーツ文化や社会現象に関するものなどです。

授業名は、「授業テーマ」と「分野名」の組み合わせで以下のように記載されています。また、分野名には必要に応じて「識別記号」（A、B等）を付することがあります。

「〇〇〇〇〇（×××××）」

授業テーマ（分野名）

例 「スポーツ・武道文化論（健康・スポーツ科学）」

4. 3 (3) の「教養科目の「授業名」と履修上の制限等」（22頁・23頁）と同様に次のいずれかに該当する授業は、重複して履修することができません。

- ・同一の分野名であって、同一の識別記号を持つ授業
- ・識別記号を持たない同一の分野名であって、同一の授業テーマを持つ授業

②スポーツ実技

スポーツ実技は、年間55コース程度開講される1学期15週で1単位の実技授業です。

この授業科目は、多様なスポーツ種目を主体的に選択しながら、スポーツに親しみ、スポーツ文化の理解を深める実技授業です。

また、スポーツ実技は学部ごとに履修枠を指定して開講され、各枠当たり2～4コース開設します。安全管理や指導効率の面から、1コース当たりの受講上限人数は20～40人程度です。

ア 授業名は次のとおりになります。

「〇〇〇〇〇（×××××）」

授業テーマ（=種目）（分野名）

例 「サッカー（スポーツ実技）」

イ 履修可能な単位数は、原則として、前・後期各1授業（各1単位）までです。

ウ 同一授業テーマ（同種目）の重複履修は、妨げません。（前・後期、同一授業テーマ（同種目）でもよい。）

エ 該当する学部の履修希望曜日・校時を決定したら、第1回目（第1週目）の授業に着替えをせずに、筆記用具持参で体育館に集合してください。（ガイダンス及び種目決定を行います。）

オ 種目が決定した方のみ、「追加・取消・変更期間」に履修登録を行ってください。

③スポーツセミナー

スポーツセミナーは、年間2コマ程度開講される1学期15週2単位の授業科目です。

この授業科目は、スポーツ科学を学びながら、スポーツ文化をより深く理解することを目的とした理論と実践を組み合わせた授業です。

「〇〇〇〇〇（×××××）」

授業テーマ（分野名）

例 「スポーツ・武道文化論（スポーツセミナー）」

4. 3 (3) の「教養科目の「授業名」と履修上の制限等」(22 頁・23 頁)と同様に次のいずれかに該当する授業は、重複して履修することができません。

- ・同一の分野名であって、同一の識別記号を持つ授業
- ・識別記号を持たない同一の分野名であって、同一の授業テーマを持つ授業

6)サイエンス・スキル

サイエンス・スキルは、理系の専門科目を学んでいく上で特に必要な数学、物理学及び化学の基礎的知識を修得させることを目標とします。

共通科目「サイエンス・スキル」の授業名は、「授業テーマ」と「分野名」の組合せで以下のように記載されています。

「○○○○○(×××××)」

授業テーマ(分野名)

例 「微分積分学Ⅰ(数学A)」

分野名には必要に応じて「識別記号」(A, B 等)を付すことがあります。「分野名」と「識別記号」の両方が同じ授業科目は、重複して履修することができません。

専門科目を学ぶ上で特に必要な科目については、学部(学科)において受講科目を指定したりあるいは推奨したりする場合があります。

また、学部(学科)によっては特定の科目を必修科目としている場合があります。学部・学科等ごとの履修方法については、5 章の「時間制作成方法について」(33 頁)や「山形大学基盤共通教育科目の履修方法」の別表 1 (61 頁)をよく見て履修してください。

7)キャリアデザイン

この授業科目は、将来のキャリアを考える上で必要な「自己理解」と「社会理解」について学ぶ授業です。

共通科目「キャリアデザイン」の授業名は、「授業テーマ」と「分野名」の組合せで以下のように記載されています。

「○○○○○(×××××)」

授業テーマ(分野名)

例 「自己理解(キャリアデザイン)」

分野名には必要に応じて「識別記号」(A, B 等)を付すことがあります。「分野名」と「識別記号」の両方が同じ授業科目は、重複して履修することができません。

4. 4 補充（再履修）等について

「補充履修（再履修）」とは、不合格になった科目の単位を補充するために、その科目の授業を改めて受講することです。履修手続き等については、1年前期に履修したときと基本的には同じです。

(1) 共通科目の補充履修

① コミュニケーション・スキル1（英語1）及び2（初修外国語）

英語1・初修外国語とも補充履修については2年次から認められます。必要に応じて学期始めのオリエンテーションあるいは掲示で履修の指示をする場合があります。

小白川地区の英語の補充については4. 3（4）1）⑩（25頁）を参照してください。

工学部又は農学部所属で、米沢又は鶴岡キャンパスに移った学生の英語の補充履修については、各所属学部の指導に従ってください。

なお、「山形大学基盤共通教育科目の履修方法」の補充に関する条項（第6条第6項）（59頁）も参照してください。

② 情報科学

情報科学（情報処理）の補充履修については2年次から認められます。

米沢・鶴岡キャンパスでは開講されるとは限りません（4. 9 基盤共通教育に関するQ&A（32頁）参照）ので、単位の修得を希望する工，農学部の学生（特に教育職員免許状取得希望者）は、必ず1年次に指定された枠で履修してください。

(2) 小白川キャンパスの学生の補充履修（その他の科目）

1年次に卒業要件を満たせなかった学生は、2年次以降に1年次の時と同様の手続きを経て補充履修することになりますが、2年次からは主として専門教育の授業が組まれるため、1年次で卒業要件を満たすよう履修計画を立ててください。

(3) 工学部で米沢キャンパスに移った学生の補充履修

2年次に進級し、米沢キャンパスに移った工学部学生で、教養科目あるいは共通科目の卒業要件を満たしていない学生は、2年次以降に米沢キャンパスで開講される当該科目を履修することができます。詳しくは学部の指示に従ってください。

(4) 農学部で鶴岡キャンパスに移った学生の補充履修

2年次に進級し、鶴岡キャンパスに移った農学部学生で、教養科目あるいは共通科目の卒業要件を満たしていない学生は、2年次以降に鶴岡キャンパスで開講される当該科目を履修することができます。詳しくは学部の指示に従ってください。

4. 5 履修すべき単位数を超えた単位について

教養科目又は共通科目で、修得すべき単位数を超えて修得した単位については、各学部が定める卒業要件によって自由科目の単位に組み込める場合もありますが、必ずしもそうでないこともありますので注意してください。詳しくは、所属学部の学生便覧を参照するか、所属

学部の教務担当（人文社会科，地域教育文化及び理学部は学生センター各学部担当）（67 頁参照）に問い合わせてください。

4. 6 教育職員免許状（教員免許）の取得に必要な科目

教育職員免許状を取得しようとする場合は，次の科目を必ず修得してください。

なお，詳細は所属学部の学生便覧を参照してください。

- ①日本国憲法（2単位／教養科目（「文化と社会」領域））
- ②「健康・スポーツ科学」及び「スポーツ実技」又は「スポーツセミナー」（2単位以上／共通科目「健康・スポーツ」領域）

※次のア又はイのどちらかを必ず含むこと。

ア「健康・スポーツ科学」及び「スポーツ実技」

イ「スポーツセミナー」

※ただし，医学部看護学科及び農学部の学生は下記のとおりとなります。

◎医学部看護学科

「健康・スポーツ科学」，「スポーツ実技」，「スポーツセミナー」の中から2単位以上

◎農学部

「健康・スポーツ科学」，「スポーツ実技」の中から2単位以上

- ③コミュニケーション英語（2単位／共通科目（コミュニケーション・スキル1））
- ④情報処理（2単位／共通科目（情報科学））

※理学部の学生は下記のことにご注意すること。

上記①～④の他に，中学校（理科）免許を取得する場合は，「共通物理学実験」「共通化学実験」「共通生物学実験」「共通地球科学実験」の4単位を修得。

※ 学部によっては，①～④のいずれかが必修科目になっている場合があります。

4. 7 休学と復学

都合により，休学する場合は，あらかじめアドバイザーに相談の上，「休学願」を学生センター基盤教育担当（人文社会科，地域教育文化及び理学部は学生センター各学部担当）に提出してください。（具体的な手続き等については，各担当に問い合わせてください。）

休学した学生が復学した場合は，学生センター基盤教育担当，各学部担当又はアドバイザーに履修方法を問い合わせ，間違いのないようにしてください。

※休学期間は在学期間には算入されません。その分卒業が遅れますので注意してください。

4. 8 学習相談室・学習サポートルーム案内

(1) 学習相談室

基盤共通教育の履修方法等の相談を中心に教員が対応します。

相談期間： 4月10日（月）～ 4月14日（金）

相談時間帯： ① 11:30～13:00 ② 15:30～17:00

会場： 基盤教育1号館1階 学生用多目的室

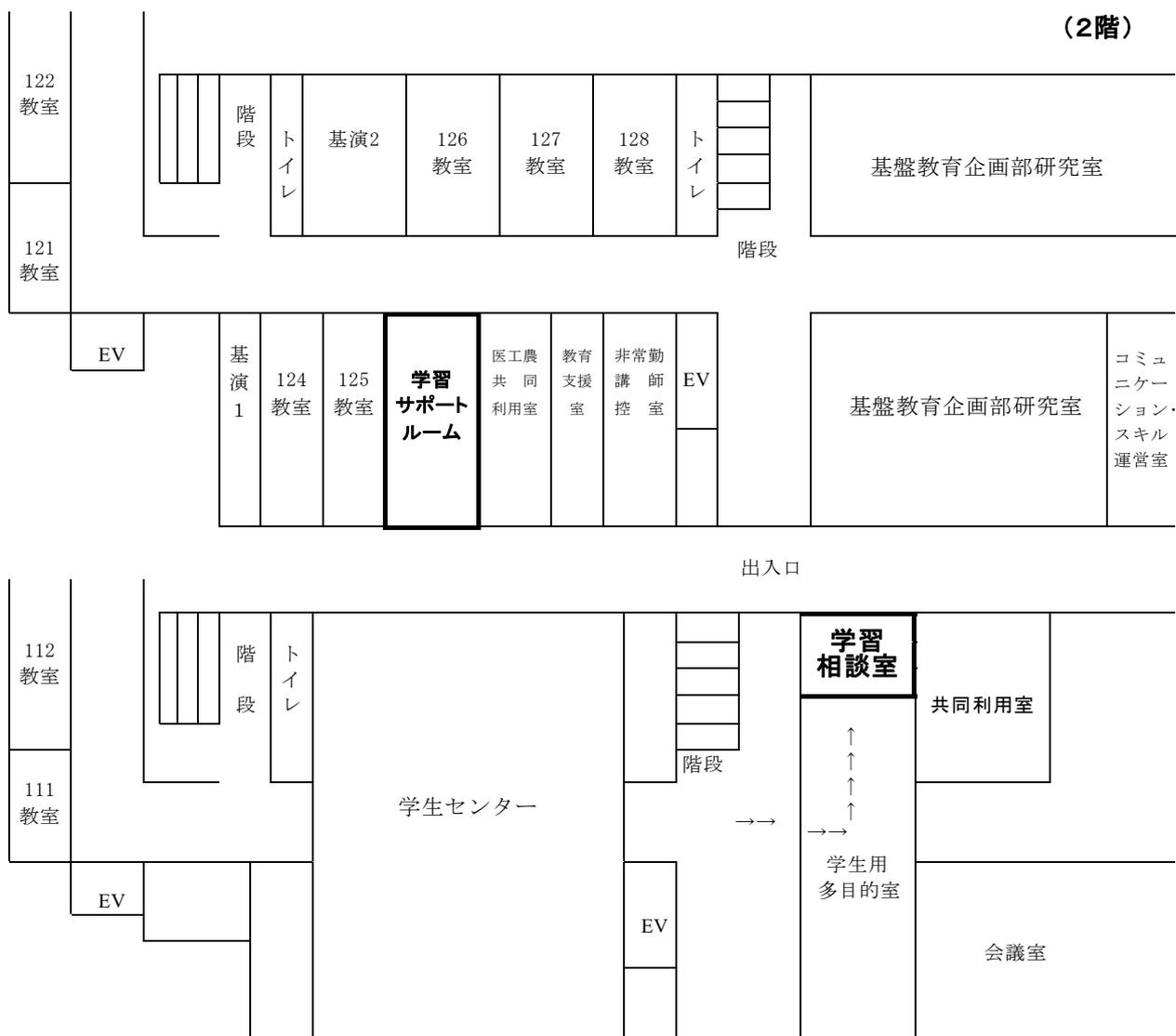
(2) 学習サポートルーム

学習サポートルームでは、基盤共通教育の履修方法等はもちろんです。進路や生活面についてなど、どんなことでも相談を受け付けています。

詳細はホームページを参照ください。

<http://www.yamagata-u.ac.jp/gakumu/yuss/index.html>

学習相談室・学習サポートルーム配置図



4. 9 基盤共通教育に関するQ&A

質問及び相談内容	回 答	
Q. 履修登録していない授業を履修することはできますか？	A. できません。	
Q. 履修したい授業が第1週目に休講だった。	A. 掲示等で特別の指示がある場合を除いては、2週目の授業に出てください。	
Q. 履修登録したが、抽選で落ちてしまった。他の科目の履修登録はどうすればよいのか？	A. 「追加・取消・変更期間」内に、WEBで履修したい科目を登録してください。 ただし、履修者数が履修定員に達した科目から順に履修登録が締め切られるので候補の科目は事前に決めておいてください。	
Q. 抽選で落ちてしまい、他の科目を履修登録したが、2回目からの出席となるが、初回の授業は欠席扱いとなるのか？	A. 授業担当教員に確認してください。	
Q. 履修登録を取消したい。	A. 「履修登録期間」又は「追加・取消・変更期間」内に、WEBで取り消すことができます。 ただし、抽選で履修を許可された科目については、取り消すことはできません。 やむを得ない事情により、履修を取り消す場合は、「履修登録取消期間」に基盤教育担当の窓口で手続きを行ってください。	
Q. 前期の基幹科目で、「人間を考える・共生を考える」と「山形から考える」の各領域で2単位ずつ修得したが、後期開講の基幹科目をさらに履修することはできるか？	A. 各領域で2単位を超えて履修登録することはできません。	
Q. 前期に教養科目の自然と科学領域で「化学A」を修得したが、後期にも「化学A」を履修できるか？	A. 分野名と識別記号が同じ授業は重複して履修できません。（22頁・23頁参照）	
Q. 共通科目のコミュニケーション・スキル1（英語1）の4単位は、必ず「総合英語」と「コミュニカティブ英語」を2単位ずつ修得しなければならないのか？	A. そのとおりです。	
3つのQに共通する事項	Q. 米沢・鶴岡キャンパスで「日本国憲法(教養科目)」は開講するのか？	A. 米沢キャンパス：工学部3・4年生を対象に開講しています。（教育職員免許状取得希望者を対象） 鶴岡キャンパス：開講していません。
	Q. 米沢・鶴岡キャンパスで「スポーツ実技(共通科目)」は開講するのか？	A. 米沢キャンパス：開講しています。 鶴岡キャンパス：開講していません。
	Q. 米沢・鶴岡キャンパスで「情報処理(共通科目)」は開講するのか？	A. 米沢キャンパス：再履修者のみを対象に開講する場合があります。（オリエンテーションの指示に注意） 鶴岡キャンパス：開講していません。
	単位の修得を希望する工、農学部（特に教育職員免許状取得希望者）は、必ず小白川キャンパスで1年次のうちに履修すること。	
Q. 授業の担当の先生の連絡先が知りたい。	A. 『基盤共通教育案内』巻末の「担当教員名簿」を見てください。	